shindaiwa®

取扱説明書

電動チェンソー

A101-Ⅱ
A131-Ⅱ
A141B-Ⅱ

⚠注 意
安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
また、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。

目　次

	頁
はじめに	1
1．安全上の注意	2
2．仕様	5
3．各部の名称	5
4．購入時の点検	6
5．装備機能と操作	6
5－1．スイッチ	6
5－2．安全ブレーキ	6
5－3．チェンオイルの自動供給	7
5－4．ソーチェンの張り調整	8
5－5．ソーチェンの目立て	10
6．作業前の点検・準備	11
7．切断作業	12
8．点検・整備	15
8－1．ソーチェンとガイドバー	15
8－2．カーボンブラシ	16
9．故障時の対応	17

はじめに

このたびは、新ダイワの電動チェンソーをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書は、本機を安全に正しく使用していただくために作成しています。本機の取り扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。

- 本機の取り扱いは、この取扱説明書の内容を理解し、安全な取り扱いができる人が行ってください。

- 本機を貸し出す時は、必ず取扱説明書を添付してください。

- 取扱説明書は、いつでもご覧いただけるように大切に保管してください。

■このチェンソーは、薪や雑木など木材の切断に使用するものです。
事故や故障の原因となりますで、この用途以外には使用しないでください。

■この取扱説明書では、注意事項のランクを下記のように区分しています。

⚠**警告**：取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。
⚠**注意**：取り扱いを誤ると、中程度の傷害や軽傷を負う可能性がある場合、および物的損害が発生する可能性がある場合。
<注意>：本機の保護と、本機の性能を十分に発揮させるための注意事項。

- 『⚠**注意**』に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

1．安全上の注意

⚠ 警告：漏電により感電するおそれがあります。

- 雨中で使用しないこと。
- 電源プラグのコンセントへの抜き差しは、ぬれた手で行わないこと。

⚠ 警告：傷ついた電源コードで感電するおそれがあります。

- 傷ついたコードは修理してから使用すること。
- コードを油・薬品や高熱・鋭利な物に触れさせないこと。
- 回転しているソーチェンをコードに近づけないこと。
  コードをソーチェンで切ったときは、切り口に触れずに、ただちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと。

⚠ 警告：キックバックにより、けがをするおそれがあります。

キックバックとはガイドバーが作業者の方に跳ね返ってくることで、ガイドバーの先端部が切断材や異物などに接触、または挟まれたときに起こります。

- ソーチェンがゆるんでいたら、張りの調整を行うこと。
- 切断材に付いている釘や小石などの異物は取り除くこと。
- 切断材は、ガイドバーの先端部が接触しないよう地面や他の材から離し、動かないよう支持すること。
- ガイドバーの延長線上に体を置かないこと。
- ガイドバー先端部での切断は行わないこと。
- 切断材の支持方法（片支持／両支持）に合せて、ガイドバーが切断材に挟まれない方向（上から下／下から上）に切断すること。

⚠ 警告：回転しているソーチェンでけがをするおそれがあります。

- 不安定な足場や、腕が胸より高くなるような不安定な姿勢での切断作業は行わないこと。
- 切断材を手で持つなどの本機が片手使用となる切断作業は行わないこと。
- 切断材にソーチェンを当てた状態で、スイッチを入れないこと。
- 回転しているソーチェンに、手や体を近づけないこと。

- スイッチを切った直後も、ソーチェンは慣性でしばらく回転しています。すぐに下に置いたり、手や体を近づけないこと。
- 本機を持ったまま、急に振り返らないこと。
- 作業中は、近くに他の人（特に子供）を近づけないこと。
- 作業は、明るい場所で行うこと。
- 部品を外したり、改造して使用しないこと。
- 本機に損傷や異常があるときは、修理してから使用すること。

⚠ 警告：回転しているソーチェンに巻き込まれてけがをするおそれがあります。

- 身体に合った衣服を着用し、袖口・胸元を整えること。
- 長い髪は束ねて、整えること。
- スカーフやアクセサリーなどのぶらつく物は、身に付けないこと。

⚠ 警告：不意に動きだしたソーチェンでけがをするおそれがあります。

- スイッチを入れたまま､電源プラグをコンセントに差し込まないこと。
- 電源プラグをコンセントに差し込んだまま移動するときは、スイッチに指をかけないこと。
- 切断材に挟まれてソーチェンがロックしたときは、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、切断材から本機を取り外すこと。
- 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておくこと。
- 点検・整備を行うときは、電源プラグをコンセントから抜くこと。

⚠ 警告：切断材などでけがをするおそれがあります。

- 粉塵や枝などから目を守るために、保護めがねを着用すること。
- 作業環境によっては、安全靴・保安帽・マスク・手袋なども着用すること。

⚠ 注意：ソーチェンが異常なスピードで回転し、けがをするおそれがあります。

- 単相交流100Ｖ以外の電源では使用しないこと。

⚠ 注意：ソーチェンでけがをするおそれがあります。

- ソーチェンの張り調整や交換を行うときは、厚手の手袋を着用すること。
- 本機は、小児の手の届く所や落下のおそれがある所で保管しないこと。

⚠ 注意：電源コードの接触不良・内部断線・短絡による発熱および放熱不足などで、火災になるおそれがあります。

- コードを持って電源プラグを抜かないこと。
- コードを持って本機を運ばないこと。
- 電源プラグは、根元までコンセントに差し込むこと。
- コードをストーブなどの高熱にさらさないこと。
- コードを束ねたままで使用しないこと。
- コードをステープルなどで固定しないこと。

⚠ 注意：運転中、モーターのカーボンブラシから出る火花で引火し、火災になるおそれがあります。

- 引火性のあるガソリン・シンナー・ガスなどの危険物をまわりに置かないこと。

⚠ 注意：絶縁が低下し、感電するおそれがあります。

- 本機は水にぬれる所や湿気の多い所で保管しないこと。

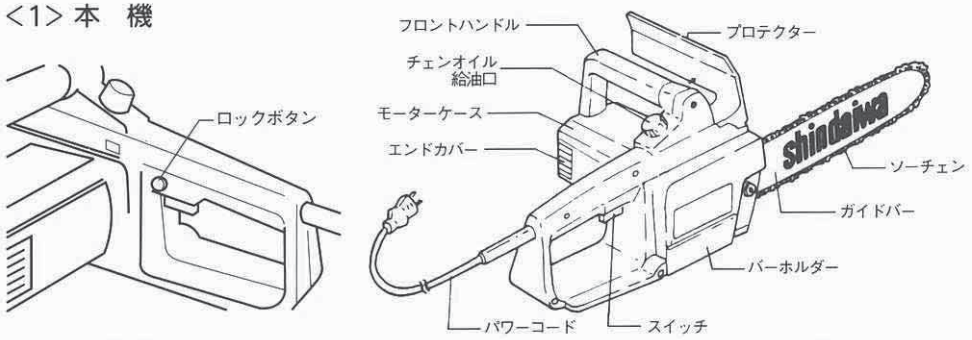
2．仕様

モデル名		A101-Ⅱ	A131-Ⅱ	A141B-Ⅱ
定格電圧		AC100V		
定格電流		9.5A	12A	14A
定格消費電力		900W	1150W	1300W
無負荷チェンスピード		8.7 m/s		
バーサイズ		12インチ	14インチ	
ソーチェン		91PX-45E	91PX-52E	91PX-52E
切断長		300mm	350mm	
チェンオイルタンク容量		125mL		100mL
外径寸法	L	300mm	300mm	333mm
	W	208mm	215mm	240mm
	H	201mm	201mm	202mm
質量		2.5kg	2.6kg	3.2kg
周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値		4.5 m/s²	4.0 m/s²	4.3 m/s²
安全ブレーキ装置		—	—	○
付属品		標準付属工具一式		
その他		二重絶縁構造・自動給油機構内蔵		

＊外形寸法および質量には、ソーチェン・ガイドバー・パワーコードを含んでいません。
＊周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値は、EN60745-2-13規定に基づき測定。
＊仕様は予告なく変更することがあります。

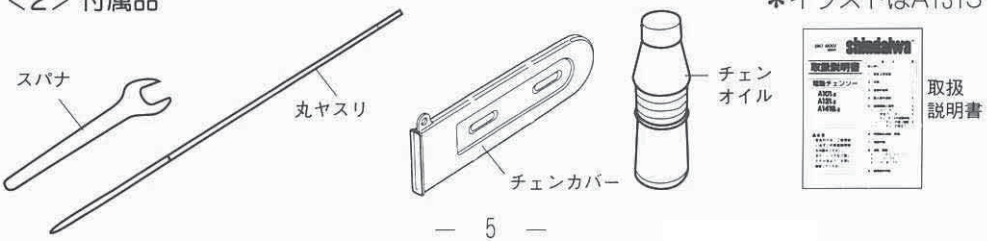
3．各部の名称

<1> 本　機



<2> 付属品

＊イラストはA131S



4．購入時の点検

障害危険の注意事項

⚠ **警告：**●点検を行うときは、電源プラグをコンセントに差し込まないこと。

箱から本機を取り出したら、次の点検を行ってください。

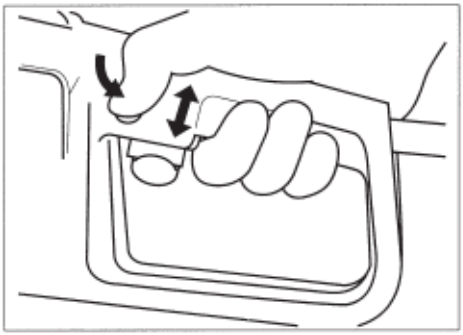
- 本機の外観に損傷はないか
- ネジ類のゆるみや脱落はないか
- 付属品に欠品がないか（『3.各部の名称』を参照）

異常や欠品があったときは、お求めの販売店か弊社営業所へご連絡ください。

5．装備機能と操作

5−1．スイッチ

スイッチは不用意に入らないようになっています。
スイッチ操作は、ロックボタンを押した状態でスイッチを引くと入り、離すと切れます。
スイッチを離すと自動的にロックボタンが戻り、スイッチが不用意に入らない状態になります。



5−2．安全ブレーキ（A141B-Ⅱに装備）

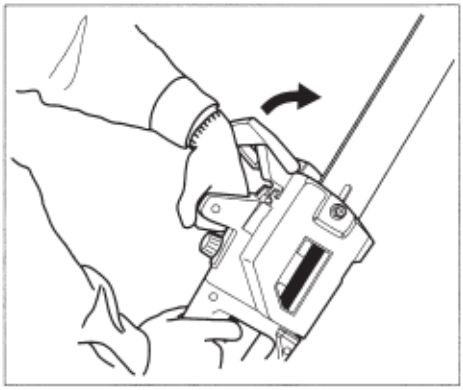
障害危険の注意事項

⚠ **警告：**●ブレーキを解除するときは、必ずスイッチから指を離し『切』にすること。

この安全ブレーキは、切断中のキックバック発生時に、ソーチェンの回転を瞬時に止めるものです。
キックバックとはガイドバーが作業者の方に跳ね返ってくることで、ガイドバーの先端部が切断材などに接触、または挟まれたときに起こります。

（１）安全ブレーキの作動

キックバックが起きて、プロテクターがフロントハンドルを持った左手の甲に当ると、その力でプロテクターは前方に倒れ、安全ブレーキが作動します。



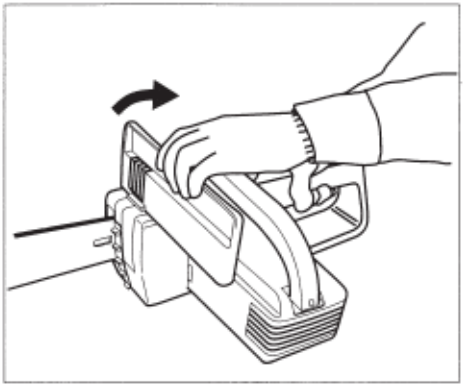
安全ブレーキが作動してソーチェンがロックされると同時に、クラッチが外れモーターは空転します。

＜注意＞

- フロントハンドルから手が離れて安全ブレーキが作動しなかったり、あるいは作動しても場合によって危害が避けられないことがありますので、過信せずに注意して作業してください。

（２）安全ブレーキの作動解除

1. スイッチから指を離し、空転していたモーターが完全に停止したことを確認します。
2. 電源プラグをコンセントから抜き取ります。
3. 倒れたプロテクターを、手前に起こします。



5−3．チェンオイルの自動供給

自動供給装置により、ソーチェンが回転している間は、チェンオイルが自動的にソーチェンとガイドバーに供給されます。

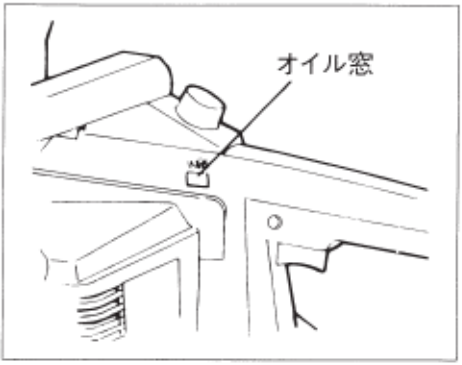
＜注意＞

- チェンオイルは、ソーチェンとガイドバーの潤滑を目的とするものです。自動供給装置を装備していても、オイルタンクにオイルがない場合は早期摩耗などを起こしますので、作業前だけでなく作業中にも、オイルが充分入っているか点検してください。

● 開梱時またはオイル切れをおこしてチェンオイルをタンクに注いだ時、ポンプ配管内にエア溜りができてチェンオイルが出ないことがあります。そのときは、タンクの口元までチェンオイルを入れてタンクキャップを取り付け、タンクキャップを手の平で2～3回強く押し付けてください。

（1）オイル量の点検

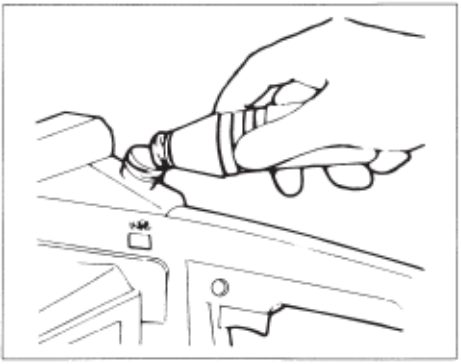
本機を水平に置いて、オイル窓からオイル量を確認します。オイル窓から油面が見えたら、残りが少なくなっていますので、給油してください。



（2）オイルの給油

給油口からオイルタンクにチェンオイルを入れます。

モ デ ル	オイル量
A101-Ⅱ	約125mL
A131-Ⅱ	
A141B-Ⅱ	約100mL



<注意>

- オイルの種類は、マシンオイル＃46（旧規格＃120）を使用してください。
- オイルタンクにゴミなどの異物が入ると、故障の原因となりますので、廃油などは使用しないでください。

5－4．ソーチェンの張り調整

障害危険の注意事項

⚠ **警告：** ●電源プラグをコンセントから抜き取ること。

⚠ **注意：** ●厚手の手袋を着用すること。

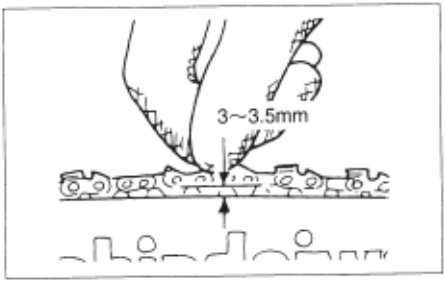
ソーチェンは使用するうちに伸びて、ゆるみが発生します。ソーチェンの張りは、本機のチェン引き用のネジを使って調整します。

＜注意＞

- ソーチェンのゆるみは、キックバックの発生・ガイドバーからの外れ・異常振動などの原因となりますので、作業前には必ず点検してください。
- ソーチェンの伸びは新品時が大きく、ある程度使用すると安定します。

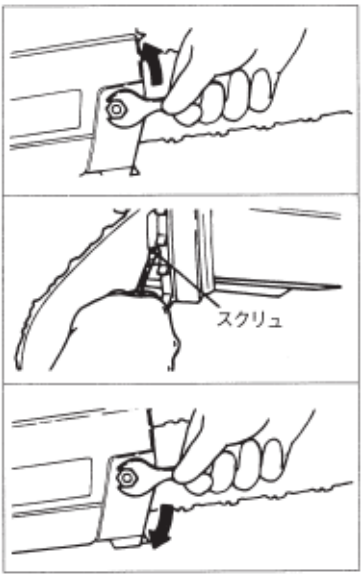
（１）張りの点検

ソーチェンのガイドバー中央付近を軽く持ち上げて、ガイドバーとのすきまが 3～3.5㎜になっているか確認します。
このすきまが大きい場合は、調整してください。



（２）調整方法

1. バーホルダーのナットを約１回転ゆるめます。
2. ガイドバーの先端を少し持ち上げます。
3. ドライバーでチェン引き用の調整ネジを回し、ガイドバーとのすきまが 3～3.5㎜になるよう調整します。
4. 調整後、バーホルダーのナットを確実に締めます。



5−5．ソーチェンの目立て

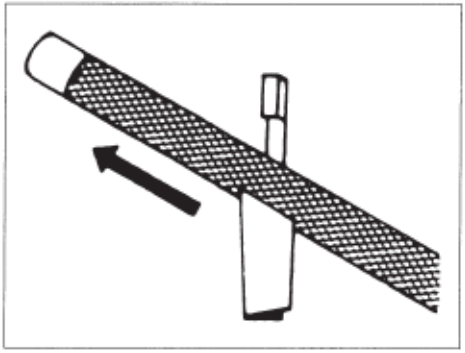
目立ての良否は、切れ味だけでなくチェンソー自体の耐久性にも大きく影響します。
100〜150カットの切断で１回を目安として、目立てを行ってください。

障害危険の注意事項

⚠ **警告：**●電源プラグをコンセントから抜き取ること。

⚠ **注意：**●厚手の手袋を着用すること。

丸ヤスリによる目立ては、次の手順で行ってください。



1. ４㎜の丸ヤスリを使用し、下図の目立て角度で、左右カッターのどちらか一方を先に、続けて目立てを行います。

＜注意＞

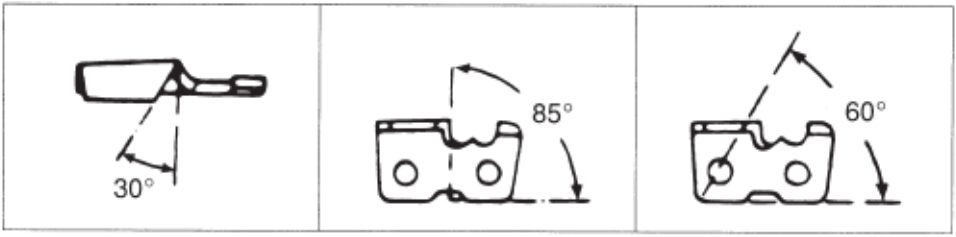
- 丸ヤスリはカッターの内側から外側に向けて動かし、目立てを行ってください。

2. 残りの方も、同様に行います。

＜注意＞

- 左右カッターの目立て角度が揃うよう、注意してください。

■カッター各部の目立て角度



■目立ての悪い例

イ）すべての刃の角度がそろっていない。



ロ）すべての刃の長さがそろっていない。



ハ）すべての横刃がそろっていない。



6．作業前の点検・準備

障害危険の注意事項

⚠ **警告：**
- 点検・整備を行うときは、電源プラグをコンセントから抜くこと。
- ソーチェンがゆるんでいたら、張りの調整を行うこと。
- 電源コードが傷ついていたら、使用しないこと。
- 本機に損傷や異常があるときは、修理してから使用すること。
- 部品を外したり、改造して使用しないこと。

⚠ **注意：**
- ソーチェンの点検は、厚手の手袋を着用すること。
- 単相交流100Ｖ以外の電源では使用しないこと。

（１）本体の損傷・ねじのゆるみ

ケース、ハンドル、プロテクターなどのひび割れや、バーホルダーのナットなどがゆるんでいないか確認してください。

（２）ソーチェン

ソーチェンに、ひび割れ・刃欠け・摩耗やゆるみはないか確認してください。

＜注意＞

- ソーチェンにゆるみがあるときは、『5-4．ソーチェンの張り調整（Ｐ8）』に従って、調整してください。
- ソーチェンが摩耗しているときは、『5-5．ソーチェンの目立て（Ｐ10）』に従って、目立てを行ってください。

（３）チェンオイル

オイルタンクに、チェンオイルが充分入っているか確認してください。

＜注意＞

- 少ないときは、『5-3．チェンオイルの自動供給（Ｐ7）』に従って、給油してください。

（４）電源コード

電源コードの被覆が破れていないか確認してください。

（５）電源

使用する電源が単相交流100Vか確認してください。

（６）延長コード

延長コード使用のときは、下表に従って適切なサイズのものを選んでください。

＜注意＞

- 細く長いコードを使用すると、電圧降下によって出力が低下し、モーターが焼損する原因となります。

コードの太さ（公称断面積）	2mm²	3.5mm²	5.5mm²
コードの長さ	15m以内	30m以内	50m以内

7．切断作業

感電危険の注意事項

⚠ 警告：
- 雨中で使用しないこと。
- 電源プラグのコンセントへの抜き差しは、ぬれた手で行わないこと。
- コードを油・薬品や高熱・鋭利な物に触れさせないこと。
- 回転しているソーチェンをコードに近づけないこと。
  コードをソーチェンで切ったときは、切り口に触れずに、ただちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと。

⚠ 注意：
- 本機は水にぬれる所や湿気の多い所で保管しないこと。

障害危険の注意事項

⚠ 警告：
- 作業は、明るい場所で行うこと。
- 身体に合った衣服を着用し、袖口・胸元を整えること。
- 長い髪は束ねて、整えること。
- スカーフやアクセサリーなどのぶらつく物は、身に付けないこと。
- スイッチを入れたまま、電源プラグをコンセントに差し込まないこと。
- 電源プラグをコンセントに差し込んだまま移動するときは、スイッチに指をかけないこと。

⚠ 警告：
- 切断材に付いている釘や小石などの異物は取り除くこと。
- 切断材は、ガイドバーの先端部が接触しないよう地面や他の材から離し、動かないよう支持すること。
- 切断材を手で持つなどの本機が片手使用となる切断作業は行わないこと。
- 不安定な足場や、腕が胸より高くなるような不安定な姿勢での切断作業は行わないこと。
- ガイドバーの延長線上に体を置かないこと。
- ガイドバー先端部での切断は行わないこと。
- 切断材の支持方法（片支持／両支持）に合せて、ガイドバーが切断材に挟まれない方向（上から下／下から上）に切断すること。
- 切断材にソーチェンを当てた状態で、スイッチを入れないこと。
- 回転しているソーチェンに、手や体を近づけないこと。
- 切断材に挟まれてソーチェンがロックしたときは、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、切断材から本機を取り外すこと。
- スイッチを切った直後も、ソーチェンは慣性でしばらく回転しています。すぐに下に置いたり、手や体を近づけないこと。
- 本機を持ったまま、急に振り返らないこと。
- 作業中は、近くに他の人（特に子供）を近づけないこと。
- 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておくこと。
- 粉塵や枝などから目を守るために、保護めがねを着用すること。

⚠ 注意：
- 作業環境によっては、安全靴・保安帽・マスク・手袋なども着用すること。
- 本機は、小児の手の届く所や落下のおそれがある所で保管しないこと。

火災危険の注意事項

⚠ 注意：
- 引火性のあるガソリン・シンナー・ガスなどの危険物をまわりに置かないこと。
- コードをステープルなどで固定しないこと。
- コードを束ねたままで使用しないこと。
- コードをストーブなどの高熱にさらさないこと。
- 電源プラグは、根元までコンセントに差し込むこと。
- コードを持って電源プラグを抜かないこと。
- コードを持って本機を運ばないこと。

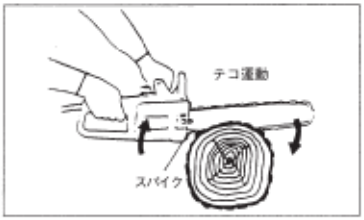
（１）基本的な使用方法



1. 切断材は安全に効率よく切断するため安定させてください。特に細い木材や短い木材を切断する場合、手前に材料を引き込んだりしますので注意してください。
2. 必ず両手でしっかりとハンドルを握ってください。
3. 切断を始めるとき、必ず最高速で回転している状態になってからソーチェンを切断材にあててください。

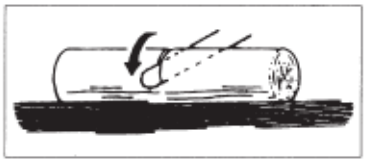


4. 軽く力をかけてチェンソーを誘導してください。強い力で押しつけるとモータが過負荷になり焼損する可能性があります。
5. 小物切断の場合は軽く押えるだけで切れますが、太い木材を切る場合はスパイク部を木材に当て、そこを支点にテコ運動を利用して押えていくと楽に切断できます。



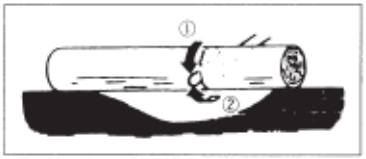
（２）切断方法例

- ささえがなく地面に横たわっている木材を切断する場合。
  木材を安定させ、上側から切断してください。



- 両端を支えられている木材を切断する場合。

1. 2回にわけて切断をします。
2. 最初のカットは木材の上側から行います。木材の直径の1／3位まで切ります。このカットにより、切断時の木材の裂断を防止できます。



3. 第2のカットはガイドバーの上側で行います。第1のカットに達するまで下から上に向かって切り込みます。上に切り込むことによりガイドバーが木材にはさまれるのを防止します。

8．点検・整備

障害危険の注意事項

⚠ **警告**：● 点検・整備を行うときは、電源プラグをコンセントから抜くこと。

⚠ **注意**：● ソーチェンの点検・交換は、厚手の手袋を着用すること。

本機を常に良好な状態で使用できるよう、定期的に点検・整備を行ってください。

8−1. ソーチェンとガイドバー

（1）ソーチェン

切れない状態での作業は、作業能率が低下するだけでなく、力を入れて切断することになりますので、本機の故障や事故の原因となります。

ソーチェンが摩耗していたり目立てが悪い場合は、『5-5．ソーチェンの目立て（P10）』に従って、目立てを行ってください。

目立て寿命でソーチェンが使用できない場合は、（3）に従って交換してください。

また、ヤニなどで汚れていたらガソリン等で洗い、その後は錆びないようにオイルに浸してください。

（2）ガイドバー

ガイドバーが摩耗したり曲がっている場合は、（3）に従って交換してください。

また、ソーチェンの入る溝やオイル穴がヤニなどで汚れていたら、ソーチェンと同じ方法で洗浄してください。

<注意>

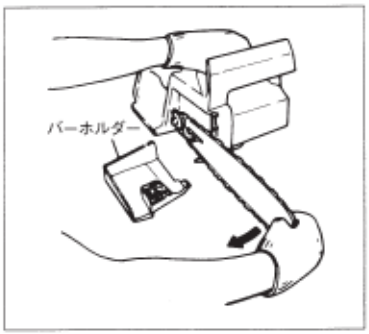
● ガイドバーは、上下をひっくり返して交互に使用すると、寿命が伸びます。

（3）ソーチェンとガイドバーの交換

目立て寿命でソーチェンが使用できない場合やガイドバーが摩耗したり曲がっている場合は、ソーチェン、ガイドバーを交換してください。

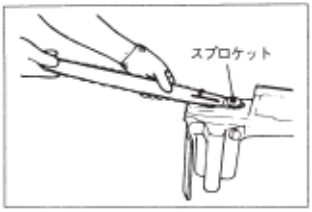
①取りはずし

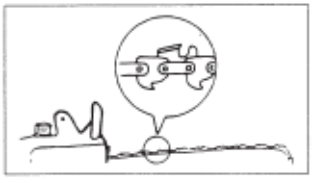
1. バーホルダのナットをスパナではずし，バーホルダをはずしてください。
2. ガイドバー、ソーチェンを図のように取りはずしてください。

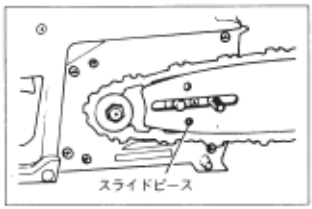


②取りつけ

1. ガイドバーの先端からソーチェンを取りつけ、ソーチェンをスプロケットに正しくかみ合わせるようにセットしてください。この時、ソーチェンの方向を正しく合わせてください。
2. スライドピースがガイドバーの穴に入るように調整し、ソーチェンがガイドバーに正しく入るようにセットしなおしてください。
3. バーホルダーを取りつけ、ナットを軽く締めつけてください。
4. ソーチェンの張りを調整したのち、バーホルダーのナットをしっかりと締めてください。ソーチェンの張りは、『5-4．ソーチェンの張り調整（P 8）』に従って調整してください。







8−2．カーボンブラシ

カーボンブラシの摩耗は、モーターの性能に大きく作用します。
次の手順で点検および交換を行ってください。

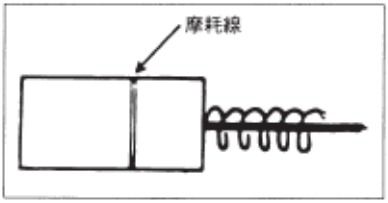
1. ネジ２本をはずし、エンドカバーをはずします。
2. ブラシホルダーからコネクタを引きぬき、カーボンブラシを取り出します。
3. 摩耗線まで摩耗していたら交換します。

<注意>

- カーボンブラシを戻すときは、同じ位置に同じ方向で入れてください。
- ブラシ交換のときは必ず２個同時に交換してください。

4. ブラシを入れてコネクタを差しこみ、エンドカバーを取りつけます。





9．故障時の対応

症　　状	推 定 原 因	処　　置
スイッチを入れても回転しない	①コードの断線 ②スイッチの故障 ③モーターの故障	・販売店で修理 ・販売店で修理 ・販売店で修理
切断時の振動が大きい	①ソーチェンのゆるみ ②ソーチェンの摩耗	・ソーチェンの張り調整 ・目立てをする
すぐにソーチェンがゆるむ	①ソーチェンが新しい ②ガイドバーの締付け不足	・その都度調整 ・ナットを確実に締める
モーターの力が弱く感じる	①ソーチェンのオイル不足 ②ソーチェンの張りすぎ ③ソーチェンの摩耗 ④木材が湿っている ⑤延長コードが長すぎる ⑥ガイドバーの曲がり ⑦モーターの故障	・タンクに給油する ・ソーチェンの張り調整 ・目立てをする ・切断スピードをおとす ・適性容量のコードを使用する ・新品のガイドバーと交換 ・販売店で修理
大きい材料を切ると曲って切れる	①ガイドバーの曲がり ②目立ての不良	・新品のガイドバーと交換 ・目立てをする
モーターが加熱する	①連続運転 ②ソーチェンのオイル不足 ③ソーチェンの摩耗	・一時休ませる ・タンクに給油する ・目立てをする

株式会社やまびこ

〒198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2　Tel 0428-32-6181

やまびこ北海道株式会社
〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20　Tel 011-891-2249（代）

やまびこ東北株式会社
〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50　Tel 022-288-0511（代）

やまびこ東部株式会社
〒198-0025　東京都青梅市末広町 1-7-2　Tel 0428-32-1091（代）

やまびこ中部株式会社
〒452-0031　愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39　Tel 052-502-4111（代）

やまびこ西部株式会社
〒701-0221　岡山県岡山市南区藤田566-159　Tel 086-296-5911（代）

やまびこ九州株式会社
〒816-0943　福岡県大野城市白木原 5-3-7　Tel 092-573-5361（代）

やまびこ産業機械株式会社
〒731-3167　広島市安佐南区大塚西6-2-11　Tel 082-849-2005（代）

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

X750-020　26　2
X750 810-260　2

(C) 2013 株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。